

紹介

金田章裕著

『大地へのまなざし』

——歴史地理学の散歩道——

本書は、長年にわたって日本やオーストラリアの歴史地理学研究に携わってきた著者が、折々の求めに応じて執筆してきた論考を集めたものである。「歴史地理学の散歩道」という副題が付けられているが、本書には通常の研究書のような明確な研究対象や研究目的は設定されていない。こうした本書の性格を、必ずしも目的地があるわけではない散歩道に擬えたものである。

本書は四部から成り、一一編の論考と四編のコラム記事が収められている。第Ⅰ部「なりわいと大地」では、道路、条里プラン、村落などの観点から、我が国の地表に形成された景観とそれらが形成された当時の社会状況について論じる。第Ⅱ部「はるかなる大地」では、オーストラリアの開発の歴史、「新訂万国全図」の編集過程、北

海道殖民地区画の起源を扱った論考が並ぶ。各論考の繋がりが見えにくいのが、イギリスによる世界覇権の確立プロセスがすべての論考に関係している。第Ⅲ部「禍福おりなす大地」では、国府・大宰府の景観、南海道を取りまく交通の状況、近江国高島郡の条里プランの復原、我が国における地震・水害の歴史が論じられている。ここでの共通テーマは、自然環境に対する人間の適応のあり方であろう。そして本書の締めくくりにとなる第Ⅳ部「時空を越えたまなざし」では、文化の形成と再生および文化の伝播と変容に関して、平安末・鎌倉初期の僧・重源の事跡とイギリスに発祥したタウンシップの二つ事例を考察し、時空を越えた文化探求の奥深さを提示する。

このように本書の内容は、道路、都市、村落、土地区画、世界認識、自然災害、文化などと、たいへん多岐にわたっている。各論考で扱われている時代や空間スケールも、古代から近現代、微地形レベルから世界レベルまでと実に様々である。本書の部立てもおそらくは、それぞれ独立した論考の共通点を強いて探し求めた結果であろう。また本書は、一部の新稿を除いて、各種

出版物に掲載された旧稿を基本的にそのままの形で再録している。したがって、各論考の文体や構成は統一されていない上、内容の重複も一部に認められる。各論考が想定している読者層もまちまちであり、一般向けの比較的読みやすいものから、かなり専門的なものまで含まれている。

こうした非統一性は本書の難点といえるかもしれない。しかし、それは著者の意図するところでもある。本書には、著者自身の本来の研究目的とは必ずしも一致しないものの、かつて著者が辿った散歩道のような仕事を、当時の感覚とともにそのまま大切に残しておきたいとの思いが込められている。しかし、一見バラバラにみえる各論考も、歴史地理学者である著者にとっては、そのいずれもが「大地」に対する関心という大テーマのもとで確実に繋がっている。本書では一貫して大地へと視線が向けられており、それが書名の由来となった。

本書を読むと、大地への関心を抱きつつ、古今東西を自由気ままに往来する著者の姿が浮かび上がってくる。大地を俯瞰するにあたっての時空間スケールの融通性は、歴史地理学者ならではの強みともいえよう。

著者は散歩道に必ずしも目的地はないという。しかし、いくつもの散歩道を歩いた経験は、やがて目の前に広がる世界に対する深い理解へと昇華されるに違いない。本書は歴史地理学の醍醐味を存分に示してくれている。

(A5版 三〇五頁 二〇〇八年六月)

思文閣出版 税別四五〇〇円)

(門井直哉 福井大学地域科学部准教授)

受 贈 誌

(二〇〇九年一月九日)
(二〇〇九年一月二六日)

国家學會雜誌(国家学会事務所) 一二二—
九・一〇

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民俗博物館) 一五四

撰大人文学科(撰南大学外国語学部) 一七
経済科学(名古屋大学大学院経済学研究

科) 五七一—

岩手史学研究(岩手史学会) 九〇

立命館文学(立命館大学人文学会) 六二三

信濃(信濃史学会) 六一—

立命館史學(立命館史学会) 三〇

日本史研究(日本史研究会) 五六七

考古学報(中国社会科学考古学研究所) 二

〇〇九—四

奈良文化財研究所概要(奈良文化財研究

所) 二〇〇九

奈良文化財研究所紀要(奈良文化財研究

所) 二〇〇九

経済研究(一橋大学経済研究所) 六〇—四

編 集 後 記

九三巻一号をお届けします。論説三本とも、対象時空は違っても、地道な史料の読み込みを作業の基礎に据え、支配者と自律的集団、あるいは表舞台と舞台裏といった、対置概念を意識させての議論、という共通点を感じとれます。(富井 眞)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.soc.nic.jp/shu/index.html>

本誌には独立行政法人日本学術振興会平成二一年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)が交付されております。

二〇一〇年三月二五日印刷 定価一、二〇〇円
二〇一〇年三月二一日発行
史 林 第九三巻第一号(通巻第四八〇号)

京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学研究科内

電話(〇七五) 七五三—二七八七
FAX (〇七五) 七五三—二七八七

発行人 史 学 研 究 会

振替京都〇一〇七〇—二五二一五五番
理事長 藤 井 謙 治

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上島町藤田二九